

建築科予科

深尾庄介	奥津正吾	河村貢山	神谷静岡	上島一高	大道健治	武林敬吉	武内和夫	仲町謙吉	矢口洋	桜井慶治	小泉由雄	込山昌宏	海老沢徹夫	秋吉匠	齋藤克己
東京	群馬	山口	静岡	高知	東京	高知	千葉	大分	栃木	千葉	群馬	山梨	茨城	福岡	埼玉
浅野陽	河村貢	神谷静	上島一	大道健	武林敬	武内和	仲町謙	矢口洋	桜井慶	小泉由	込山昌	海老沢徹	秋吉匠	齋藤克	齋藤克
東京	山口	静岡	高知	東京	高知	千葉	大分	栃木	千葉	群馬	山梨	茨城	福岡	埼玉	埼玉
酒井市三郎	神谷静	上島一	大道健	武林敬	武内和	仲町謙	矢口洋	桜井慶	小泉由	小泉由	込山昌	海老沢徹	秋吉匠	齋藤克	齋藤克
東京	静岡	高知	東京	高知	千葉	大分	栃木	千葉	千葉	千葉	山梨	茨城	福岡	埼玉	埼玉
廣田直行	神谷静	上島一	大道健	武林敬	武内和	仲町謙	矢口洋	桜井慶	小泉由	小泉由	込山昌	海老沢徹	秋吉匠	齋藤克	齋藤克
鳥取	高知	高知	東京	高知	千葉	大分	栃木	千葉	千葉	千葉	山梨	茨城	福岡	埼玉	埼玉
鳥居塚誠一	武林敬	武内和	仲町謙	矢口洋	桜井慶	小泉由	込山昌	海老沢徹	秋吉匠	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克
茨城	高知	千葉	大分	栃木	千葉	千葉	山梨	茨城	福岡	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉
長大作	武内和	仲町謙	矢口洋	桜井慶	小泉由	込山昌	海老沢徹	秋吉匠	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克
東京	千葉	大分	栃木	千葉	千葉	山梨	茨城	福岡	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉
大石忠夫	仲町謙	矢口洋	桜井慶	小泉由	込山昌	海老沢徹	秋吉匠	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克
山口	大分	栃木	千葉	千葉	山梨	茨城	福岡	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉
建島惣弥	矢口洋	桜井慶	小泉由	込山昌	海老沢徹	秋吉匠	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克
東京	栃木	千葉	千葉	山梨	茨城	福岡	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉
長岡七郎	桜井慶	小泉由	込山昌	海老沢徹	秋吉匠	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克
大阪	千葉	千葉	山梨	茨城	福岡	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉
牧浦胖	小泉由	込山昌	海老沢徹	秋吉匠	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克
兵庫	千葉	山梨	茨城	福岡	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉
遠藤雄二	込山昌	海老沢徹	秋吉匠	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克
宮城	山梨	茨城	福岡	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉
岩田順三	海老沢徹	秋吉匠	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克
大阪	茨城	福岡	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉
花田忠吾	秋吉匠	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克						
青森	福岡	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉						
富田卓司	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克	齋藤克							
大阪	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉							

④ 各科生徒級別現員表

昭和十六年四月一日

区別	予科		第一年	第二年	第三年	第四年	計	研究科	小計
	本科	特別学生							
日本画科	二二	二二	二二	一八	一九	二二	二〇	一	一〇三
油画科	三二	三六	三八	三三	三四	二七	七	二一八	一
特別学生	二	一	一	三	三	七	七	二	八一

⑤ 繰上げ卒業式

昭和十六年十二月二十六日、修業年限三カ月短縮による異例の繰上げ卒業証書授与式(第五十一回)が行われ、同月二十五、二十六、二十七日の三日間、東京府美術館で卒業制作品陳列会が開かれた。左記はその記録文書よりの抜粋である。

総計	師範科	建築科	工芸科					木彫刻部	彫造部	彫刻科	
			漆工部	鍍金部	鍛金部	彫金部	図案部				
		特別学生	本科	特別学生	本科	選科	本科	特別学生	本科	特別学生	本科
一一七		七	六	六	四	三	一	一三	七	一	一五
一五三	二一	一	九	七	五	三	二	二一	九		一四
一三七	一五		八	七	一	六	四	一四	七	一	一二
一四三	一七		六	六	九	四	一	一五	八		一六
一二四			八	七	五	四	一	一七	七	一	一四
一六七	五三		三	三	一	三	二	八〇	三	三	七一
四四七		〇	二	三	三	六	二	七			一八
一七八	五三	三九	三五	三五	二二	二九	八四	四五	四五		九二

第五十一回卒業證書授與式次第

東京美術學校

昭和十六年十二月二十六日午前十時

一、新卒業生式場着席 (第一號鐘、講堂北口ヨリ出入)

一、生徒式場着席 (同上)

一、職員參列舊卒業生着席 (第二號鐘、講堂東口ヨリ出入)

一、來賓着席 (同上)

一、宮城遙拜、靖國神社遙拜、出征將士ノ武運長久ヲ祈ル

一、君ヶ代二唱

一、卒業證書及賞品授與

一、學校長式辭 (卒業生前後敬禮)

一、文部大臣祝辭 (同上)

一、卒業生總代答辭

一、校歌

一、式終了挨拶

一、來賓、職員、舊卒業生、新卒業生、生徒順次退場

卒業製作目錄(席次いろは順)
日本畫科

秋	系	化	斜	彩
濯	粧	陽	秋	
本科	伊藤 耕	石田 成瑜	石倉 正富	堀 嘉雄

富士の曙	流木	若葉の頃	不動瀧	冬の投影	憩ふ海女達	清流	高原	牛と雑草	晨潮譜	郷の娘達	麥秋	見學	油畫科	肖像	七口を弾く	人物	黄いスエーター	化粧部屋	坐像	青年	黒いオーバー	畫室にて	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	自畫像	同	同	同	同	同	同	同	同	同
岡田 盛一	岡本 實	織田 音也	川田 保一	田中 榮二	前川 昭義	近藤 鋳	佐藤 保	清野 清二	關 主稅	關根 雅雄	須原 忠雄	鈴木 國藏	岩田 哲男	井手 太郎	井關 毅	原田 新	富安 昌也	大谷 元	岡田 良一	岡田 弘文	梶田 英一	金子善三郎	

佛所行讚(モザイク)

圖案形成への基本的考察

圖案 四題

(A)海草(B)貝殻と花(C)色彩の發生(D)花

國民住宅機構

白と黒

美の流動性

木版による自然物の裝飾的表現

素材 詩

基礎 研究

人物形能表現の技術的變化(光 色彩 ポーズ)

硝煙の中より

玩具 圖案

ポスター

彫金部

衝立(故郷)

花瓶(海) 壺(ダンス)

壁面裝飾(野にて)

主觀的なる室内裝飾

鍛金部

鍛金切嵌花瓶

おんはゝ(鍛銅)

鐵製鏝形的釣花生

鑄金部

月に映じたる思惟像(下界の動亂)

岡本 銈吾

渡邊 守治

川島 典彦

勝田 猶興

黒田 正夫

山田金太郎

馬淵 聖

松井 董博

前川 治朗

藤形 一男

駒井 達郎

三井 鐵夫

特別學生 李 楨 泰

本科 大久保光暉

熊谷 清

間部 五郎

新井正太郎

本科 河内 三郎

依田 君美

阿部 剛

本科 岩田 良二

樹木より(梅の樹)

吾も征かん決意

壁面戰士三部作(突撃、報道、産業)

壁面戰陣譜(待機、激戰、勝利の前進)

漆工部

管(てっせん花文)

書棚(夏夕)

盛器(向日葵文様)

手筈(栗鼠文様)

能畫壁面裝飾(道成寺より)

飾壺(牛文様)

屏風(生命、七夕祭ノ天ノ川ヲ主題トセル)

建築科

藝術本山の内劇場と塔

クラブ建築

河畔に建つ日本住宅設計

一樂園の爲の施設

工業都市近郊に於ける住宅街計畫

聖戰記念館の記念碑と美術館

住宅

別荘

師範科

平常成績品(師範科ニ於テハ卒業製作ヲ行ハス)

同 恩地 邦郎

同 大國 多聞

同 横谷 久由

同 鹽釜 忠磨

本科 稻塚 芳郎

同 片岡 茂保

同 梶木 常正

同 村井 養作

同 小林 進

同 青木健一郎

同 篠井 欽治

本科 池田 忠彦

同 袴田 誠

同 西野 達二

同 大森 朝男

同 阿部 彌彦

同 佐藤 登

同 廣川勇一郎

同 元田長次郎

横 隊(油畫) 西田 亨

